

平成27年度活動報告

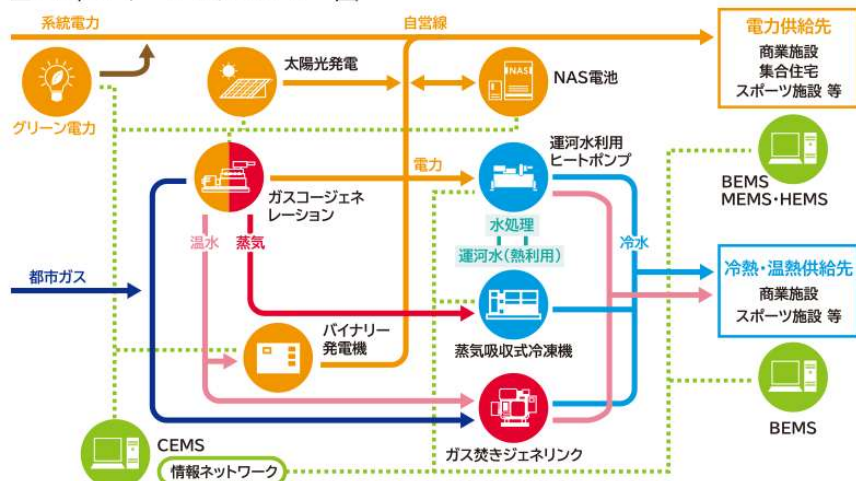
- 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大
 - 販売台数は累計9,000台に(2016/1)、全国累計では約15万台
 - SOFC新モデル追加(2016/4):世界最高発電効率52%、世界最小サイズを実現
- 技術研究所トピックス
 - スマート関連:港明用地再開発にて総合エネルギー事業(スマートタウン)
 - 燃料電池自動車MIRAI販売に併せて商用水素ステーション整備(みなとアクルス)
- 固体酸化物形燃料電池(SOFC)の研究開発
 - 小型業務用(5~10kW)SOFCの実用化に向けた取組み(継続)
 - プロトン伝導セラミックス燃料電池PCFCの基礎研究(継続)
- その他対外活動(水谷)
 - ①招待講演・依頼講演
 - PACRIM11, “Recent Progress of Solid Oxide Fuel Cell Technology in JAPAN”
 - 革新セラミックス製造技術国際シンポジウム
 - ②外部活動
 - 燃料電池実用化推進協議会(FCCJ) SOFCサブワーキング主査, 業務用SOFC検討会主査
 - NEDO 燃料電池技術開発 技術委員
 - 豊橋技術科学大学 非常勤講師「新エネルギー工学」
 - ③その他
 - 産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 客員研究員に就任(2月~)

トピックス



Energy Center,
Energy Management System

■ エネルギーシステムフロー図



港明地区エネルギー供給モデル(スマートタウン) <http://minatoaquils.com/>



TOYOTA FCV MIRAI



新港明水素ステーション整備



SOFC-XIV (Glasgow, Scotland)



PACRIM11(Jeju, Korea)



AIIST Chubu (Nagoya)